（一社） シェア・ザ・プラネット

バングラデシュにおける環境・気候変動に適応する持続的農業の実践と普及

活動地域 バングラデシュ

ひろげる助成 4年目 実践

灌漑に頼らない農業実践者数	300人
灌漑に頼らない農業実践面積	226ha
今年度計画の達成度	100%
目標達成度	100%

活動模型による展示（行政官への説明）

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

2019年にはサイクロンが直撃し、2020年は新型コロナウイルスの感染拡大と困難な場面があったが、農民が活動の意義をよく理解してくれたため遅滞なく遂行できた。

■工夫した点

行政との関係強化と周知のため、農業省事務次官・農業普及局局長、県令・県農業普及所長など行政への働きかけに注力した。結果、彼らからの協力を得ることができた。

課　題

地下水灌漑に過度に依存している農法の改善（地下水の汲み上げ過ぎによる帯水層の低下、ヒ素の溶出等の環境汚染が顕在化している）。

目　標

地下からの灌漑水に過度に依存する農法から節水型の作付けや農法が住民主導で実践される。

活動内容と成果

対象住民の8割が作付けをコメから野菜へと転換した。また9割以上の農民が節水型稲作を導入し、そのいずれかをすべての農民が実践した。
またこうした農法を導入したすべての農民の収益が上がり、取組みに対して農業行政・地方行政ともに認知・協力が得られ、協力体制が構築できた。
また地方紙や全国紙にも活動が取り上げられた。

隔月に行われるミーティングの様子

全助成期間の活動を振り返って

地下水の汲み上げ過ぎによる帯水層の低下や近代農業による土地痩せ、農薬についてのリスクについては農民は危惧を感じている。しかし、それに対する処方箋がこれまで示せてこなかった中で、本事業は経済的な側面も含めしっかりと例示し実証ができたという面で、バングラデシュの農業のあり方について一石を投じることができたと考える。

世界食糧記念日のラリーで活動紹介

〒350-0046
埼玉県川越市菅原町7-16-302
電話：070-5363-5858
E-mail：info@sharetheplanet.jp
HP：http://sharetheplanet.jp/

今後の展望

この事業を通じて実証した農法をしっかり伝搬・普及するためには行政や市民社会への働きかけが極めて重要であるという考えのもと、事業を展開してきた。今後は「普及」を念頭に、より農業行政や地方行政、ローカルNGOとのネットワーキングを視野に働きかけていく予定である。